

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2451
研究開発課題名	マルチバンド対応の再構成可能な電波吸収体の開発
研究代表者	東京科学大学 総合研究院 助教 イ サンヨブ
研究開発成果の概要	フィルム型吸収体の両面を活用可能なリバーシブル電波吸収体を基盤とし、それらを組み合わせることで多様な周波数帯に適應できる再構成型吸収体の実装に向けて取り組んだ。2つのリバーシブル吸収体の組み合わせにより、計 12 通りの構成が可能となり、複数の周波数帯において吸収特性を確認できた。

総合評価

本技術は、Beyond 5G の実現に向けて重要となるテラヘルツ帯を活用していくうえで重要な要素技術である。低コスト化を目指した研究開発と早期の起業など事業化に向けた積極的な取り組みが評価できる。長期的な競争優位性の確保が重要な分野であることを念頭におき、知財戦略およびビジネスモデルの精緻化を進めることを期待する。

以上